

なんさいじんじゃ
南西神社



さいこうじ なんじゃい にしどなり こたち なか
 最興寺（南蛇井1133-1）西隣のこんもりとした木立の中にある。

なんじゃい ふる ねん むかし つく やしろ むらびと
 南蛇井には古くは400年もの昔に造られた9つの社があり、村人たちは

こころ ごこくほうじょう てんかたいへい むびょうそくさい
 はこれを心のよりどころとして、五穀豊穰、天下太平、無病息災、

かないあんぜん いの く
 家内安全を祈って暮らしてきた。

めいじ せいふ ぜんこく ち じんじゃ いせいじんくう ちゅうしん
 明治になって、政府が全国に散らばっている神社を、伊勢神宮を中心

さいへんせい すす むら やしろ むら ちゅうおうぶ
 として再編成を進めたため、村では9つの社を1つにして、村の中央部

たかだい しゃでん た なんにさいじんじゃ かみなんじゃい しもなんじゃい
 にある高台に社殿を建て、南西神社とした。上南蛇井、下南蛇井に

ししぐみ さいじつ がつ にち ごてんりゅうししまい ほうのう
 獅子組があって、祭日（10月15日）には御殿流獅子舞を奉納した。そ

ようす しりつとしょかん しょぞう し
 の様子は、市立図書館が所蔵しているVTRによって知ることができる。